

# 第 17 回自然環境学習会



Hirosaki Environmental Partnership21

ひろさき環境パートナーシップ21



ミヤマサナエ



オオシオカラトンボ



オオルリボシヤンマ

トンボの写真は全て弘前だんぶり池で撮影されたもので、これまで確認されたトンボは、44 種となっています。

【とき】2025 年 3 月 22 日（土）13：00～16：00

【ところ】弘前大学農学生命科学部 4 階 402 講義室（土曜日につき構内駐車場入場可）

【主催】ひろさき環境パートナーシップ21（HEP21）【協賛】弘前大学農学生命科学部

【共催】弘前市（市民生活部環境課）【対象・その他】一般市民・入場無料・申込不要

【問い合わせ先】自然環境グループ 白戸 ☎ 0172-34-7834

話題提供者（敬称略）

13：05 開始

①「だんぶり池でよくみられるトンボ種類の被災前と被災後の移り変わり」

戸澤夢佳（とざわ ゆめか）県立弘前高等学校 2 年

②「青森県のトンボについて」

小野如矢（おの なおや）弘前大学農学生命科学部生物学科 3 年  
フィールドサイエンス研究会

③「アパレル業界の環境問題・衣類の再循環」

堤腰俊吾（つつみこし しゅんご）

AortA Group（アオルタグループ）代表・弘前大学医学部医学科 4 年

④「青森県における野生ランについて」

成田一哉（なりた かずや）自然生き物写真家・津軽昆虫同好会

14：30（休憩）

14：45（再開）

⑤「コケ植物 ―小さい身近な植物たち―」

太田正文（おおた まさふみ）津軽植物の会・日本蘚苔類学会会員

⑥「県の蝶ゴマシジミアリを食べて育つ不思議な生態」

工藤 忠（くどう ただし）日本鱗翅学会 東北地区自然保護委員長

⑦「地球温暖化と森林の呼吸そして豪雨・豪雪」

石田祐宣（いしだ さちのぶ）弘前大学理工学部地球環境防災学科准教授

15：50 終了予定



オニヤンマ



イチヨウラン



タチヒダゴケ



ゴマシジミ

※ひろさき環境パートナーシップ21（2002 年設立：略称 HEP21）は、弘前市と環境パートナーシップ協定を締結し、弘前だんぶり池づくり、ひろさきお寺の日、まちかど広場クリーン大作戦など各種環境施策を市と協働して推進しています。

【会場・駐車場案内】弘前大学農学生命科学部4階 402 講義室



駐車場案内と構内図です。図面下方に緑色の一般駐車場があります。文京町側からも富士見町側からも入れる細い道路ですが、富士見町側から入ってすぐの武道場とサークル棟の間にあるゲート（土曜日はゲートが開いています）を入ります。好きなところに止めて下さい。駐車場奥にある細い通路（多目的広場の横）を120mほど歩くと 農学生命科学部の正面玄関前に出ます。その他構内駐車場も駐車可ですが、農学生命科学部からは距離が離れます。



土曜日は向かって左側武道場と右側サークル棟の間にある入口ゲートが開放されていますので、まっすぐ進み左側に曲がって、駐車場に入ってください。



お好きなところに駐車してください。一番奥の左側に通路入り口があります。



その通路を 120mほど直進すると農学生命科学部棟の正面玄関です。エントランスに入って、エレベーターに乗り4階で降ります。すぐ左側が会場の402 講義室です。